

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37102	レクリエーション実技 Practical Skills of Recreation	秦 真人	専門	1	選択	1・2年 前期
科目の概要						
レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要な、レクリエーションに関する基礎技能の習得を目指す。各レクリエーション種目とくに生涯スポーツ系のレクリエーションの支援演習を行う。また現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツとともにレクリエーションは重要な役割を担っていることを理解する。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力の修得をめざしていく。						
学修内容			到達目標			
① 生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化されること			① 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる			
② レクリエーションを通して、集団におけるコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける			② レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる			
③ 基本的なレクリエーション技能を身につけ、基礎的な指導ができるようにする			③ レクリエーション活動の基礎的指導ができる。			
④ ルールや運営方法などを身につける			④ ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる			
⑤ 様々なレクリエーション種目の紹介と実践により、レクリエーションに対する理解を深める			⑤ 全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自分の役割を積極的に果たす				
	働きかけ力					
	実行力	目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成する				
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処する				
	計画力					
	創造力	新たなレクリエーション種目を創り出す				
チームで働く力	発信力	レクリエーションの中で自分の考えを提案する				
	傾聴力	レクリエーションの中で、他人の考えをしっかりと把握する				
	柔軟性	レクリエーションの中で意見の相違があっても、柔軟に対処する				
	状況把握力	レクリエーションの中で、どういう場面であるかを常に把握して対処する。				
	規律性	レクリエーションの中でのルールを守る				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:「レクリエーション論」、「レクリエーション実習」、「生涯スポーツ」、「アウトドア演習」 資格との関連:レクリエーションインストラクター、(スポーツインストラクター)						
学習上の助言			受講生とのルール			
難しい用語を暗記する授業ではない。物事の原理原則を皆さんの人生、日常生活やスポーツ活動の中で、どう役立てていくかについて学んで欲しい。			<ul style="list-style-type: none"> 必ず更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート (記録)	30	①	✓	・毎回の課題に対して、レクリエーション活動を理解して実践してきたかどうかをレポート記録から評価する。
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (実技)	60	①		・学修内容について、しっかりと実践されているかどうか実技の状況を見て評価する。 ・必要なスキルをある程度習得し、実践ゲームに活かしているかどうかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) 積極的にイベントに参加し、自分の役割を果たすことができているか。 (実行力) イベント活動に粘り強く取り組み、その日の目標を達成しているか。 (課題発見力) イベント活動を通じて、レクリエーションについての課題を発見しているか。 (創造力) 新たなレクリエーション種目を創り出すことを念頭に活動することができるか。 (発信力) レクリエーションの中で自分の考えを提案することができるか。 (傾聴力) レクリエーションの中で、他人の考えをしっかりと把握することができるか。 (規律性) レクリエーションの中でのルールを守ることができていたか、また運動に適さない服装や携帯電話を触っていたりするなど、ルールが守れず態度が悪い学生は減点の対象とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他		①		・遅刻、欠席は減点する。 ・6回以上の欠席は不認定とする。ただし、授業に出席することは当たり前のことなので、出席点は加味しない。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、将来的に習慣化されると思われる場合 A(優)。 さらに、将来的に効果的に実践させることができ、特に指導的立場にいたると思われたら S(秀)となる。	授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を理解し、それを活かした実践ができると共に技能の向上が図れた場合 B(良)。 授業に参加し、個人技能の向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	レクリエーションへの導入とワークを行う	教員からの説明の後、実技を実施する	種目の概説とアイスブレーキングの実践により、レクリエーションを理解することができる	(予習)レクリエーションとはどのようなものか予習する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2週 /	チャレンジ・ザ・ゲーム①スティックやボール、なわ等を使った種目を実践する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各種目のルールを理解し、技術を主体的に習得することができる	(予習)チャレンジ・ザ・ゲームについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3週 /	チャレンジ・ザ・ゲーム②リングやボール、ゴム、竹等を使った種目の実践	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各種目のルールを理解し、技術を主体的に習得することができる	(予習)チャレンジ・ザ・ゲームについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4週 /	フライング・ディスク①基本投法と基本キャッチに挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ディスクの基本投法と基本キャッチを修得することができる	(予習)フライング・ディスクについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5週 /	フライング・ディスク②ディスク・ゴルフに挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ディスク・ゴルフのコースラウンドにチャレンジし記録することができる	(予習)ディスク・ゴルフについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6週 /	フライング・ディスク③アルティメットに挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	集団ゲーム、アルティメットにチャレンジすることによって積極的に理解できる	(予習)アルティメットについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7週 /	ソフトバレーボールの実践に挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ソフトバレーボールのルールを理解し、ゲームが円滑にできる	(予習)ソフトバレーボールについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8週 /	インディアカの実践に挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	インディアカのルールを理解し、ゲームが円滑にできる	(予習)インディアカについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	キンボールの実践に挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	キンボールのルールを理解し、ゲームが円滑にできる	(予習)キンボールについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10週 /	グランド・ゴルフの実践に挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	グランド・ゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる	(予習)グランド・ゴルフについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11週 /	ゲートボールの実践に挑戦する	教員からの説明の後、実技を実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ゲートボールゲームにチャレンジし記録することができる	(予習)ゲートボールについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12週 /	ターゲット・バードゴルフの実践に挑戦する	教員による模擬実践と説明の後、実際にスキル練習をする(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ターゲット・バードゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる	(予習)バードゴルフについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13週 /	ターゲット型レクリエーション種目の技術習得に挑戦する	教員による模擬実践と説明の後、実際にスキル練習をする(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	クオリティ・フリーブロー・ビーンボウリングのルールを理解し基本技術を修得することができる	(予習)クオリティ・フリーブロー・ビーンボウリングについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14週 /	ベースボール型レクリエーション種目の実践に挑戦する	教員による模擬実践と説明の後、実際にスキル練習をする(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	クリケット・ランウンダースのルールを理解しキックベースボールのゲームが円滑にできる	(予習)ベースボール型レクリエーションについて予習する (復習)実践結果を確認し振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
15週 /	まとめのレクリエーションの実践を行う	実技を伴うテストを実施する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	まとめの小テストにより、各レクリエーション種目の内容を確認し理解できる	(予習)テスト内容について予習 (復習)各種レクリエーションの名称について復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力